

女性の不平とよろこび

岡本かの子

青空文庫

女が、男より行儀をよくしなければならぬということ。

人前で足を出してはいけぬ、欠伸あくびをしてはいけぬ、思うことを云いつてはいけぬ。

そんな不公平なことはありません。女だって男と同じように疲れもする、欠伸もしたい、云い度たいと思うことは沢山たくさんある。疲れやすいこと欠伸をしたことなどは、むしろ男より女の方がよいかもしれない。それなのに、なぜ、昔から男は、食後でも人前でも勝手かたてに足を出し欠伸をし、云い度たいことも云えるのに、女にそれが許されぬのだらう。

外側をためてばかりいると、内側の生命が萎縮いしゆくしてしまう。

男が伸のび々と拘束こうそくなしに内側の生命を伸のびす間に、女は有史以来おき圧えられたりそれを萎縮いしゆくされてしまった。

生理的から観みても、女の肉体は男より支持力に堪たえがたい、乳房の重み、腰部ようぶの豊満ほうまん、腹部も男より複雑であります。

殊ことにこの特長の発達している私には食後の大儀たいぎなこと、客きやく人の前の長時間などは、つくづくこの女子にのみ課せられた窮きゆう屈くつな風習ふうしゅうに懲こりて居います。

この頃ではこの議を随分ずいぶん自分から提唱ていしょうして、乱れぬ程度でこの女のみしに強いられ

た苛酷かこくな起居きぎよから解放かほうされて居るには居ます。思い出しました。四五年前の与謝野家の歌会たかいの時、その座のクインであつた晶子夫人あきこが、着座ちやくざしばらくにして、上じょう 軀たいを左方に退ひき膝ひざを曲まげてその下から一ひと脚あしを曲まげて右方へ出でされました。夫人特有の真白ましろい素足すあしが、夫人の濃こむらさき 紫むらさきの裾すそから悠ゆう々ゆうと現あらわれました。

夫人は、これだけのムードを事もなげな経過まんざぶりで満座まんざのなかに行いわれたのであります。そして石井柏亭いしいはくていと平氣へいけいで談笑だんぎょうして居おられました。

達手だてで自由じゆうで宜よい、と私は傍そばで思おもいました。いかにも文明国ぶんめいこくの、そして自由な新時代しんじだいの女性にょせいとしての公平こうへんなポーズポーズ（姿態したい）だと思おもいました。

ただ、女は何と云いつても、男おとこより、外觀美げんかんびを保たもたなくてはいけない、これは理屈りくつより審美しんび的立た場ばから云いうのです。で、如何いかに、举措きよそを解放かほうするにしても、常とこに或程度あるの収攬しゅうらんを、おのずから自分おのれの上に忘わすれてはいけません。

美的な放恣ほうし、つましやかな自由じゆう、それはどうあるべきかと追求すいしゆされてもこまるけれど、とにかく以上の字義じぎどおり何れいずの女性にょせいも心術しんじゆつとして欲ほしい、結果けつこはおのずから達成たっせいせられるでありましょう。

女も男と同じように働はたらき、学まなび、考かんがえる時代じだいとなり、尚なほ上述じょうじゆの条件じょうけんを男子側なんしより否定ひていさ

れるならば、永遠に、女性の生命は内面の不平を堪えて男子を羨み続けるでありましょう。女性のよろこびを考えるうちに「化粧」が思い浮べられた。

男でも化粧する人はある。しかしそれに凝ったにしても到底女の範囲にまで進んで来ることが出来なからう。

女でも化粧しない人がある。化粧しないでも美しい人がある。しかし、そういう人はまれである。そして、そういう人も化粧すればなお美しくなる。そして、そういう人も年が三十にかかればどうしても化粧の手を借りなければいくらか醜くなる。

化粧するのが面倒でしないのは仕方がない。化粧しないでも美しくいと自信をもって、しかもしないことを平気で居て、他人のすることをまた他人の仕業として平気に眺めて居るのはいいが化粧しないのを自慢にしたり、他の女がするのを軽蔑したりするのは愚である、傲慢である。女性の何人も化粧するのは好い、可憐である。美女は美女なりに、醜女は醜女なりに、いかにも女性の心の弱さ、お洒落さ、見栄坊であることを象徴して好い。

美女が化粧えば一層の匂いを増し醜女がとりつくろえば、女性らしい苦勞が見えて、その醜なのが許される。

ともあれ、女と生れた^{おおかた}大方の女性にあつて、着物の柄、帯の色、おしろい^{まゆ}眉ずみ、口紅を揃えてしばらく鏡の前のよろこび（それにいらだたしさもどかしさは交^{まじ}るとも）女にのみ許されたそのよろこびを経験せぬものは少ないでしょう。

青空文庫情報

底本：「愛よ、愛」パサージュ叢書、メタローグ

1999（平成11）年5月8日第1刷発行

底本の親本：「岡本かの子全集 第十二巻」冬樹社

1976（昭和51）年9月20日初版第1刷発行

入力：門田裕志

校正：土屋隆

2004年3月30日作成

2013年10月5日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

女性の不平とよろこび

岡本かの子

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>